

配信資料に関する技術情報（気象編）第78号
－ 海上悪天48時間予想図（FSAS48）の発表について －

気象庁では、北西太平洋域における船舶の安全な航行のため、FAX天気図として、アジア地上天気図（ASAS）を1日4回、アジア地上24時間予想天気図（FSAS）を1日2回、また台風発生時には台風予報図（WTAS07）を1日4回発表しています。

FSASでは、予想気圧配置の情報に、強風域、霧域、船体着氷域等の悪天域を追加して表示し、船舶が注意すべき現象・海域を具体的に示す改善を平成11年7月15日から行っています（平成11年6月14日付け配信資料に関する技術情報第50号）。

今般、平成13年3月21日00UTC（日本時間午前9時）を初期値とするものから、下記のとおり新たに48時間先の予想天気図（海上悪天48時間予想図（FSAS48））を1日2回発表します。

また、FSAS48の発表開始に伴い、アジア地上24時間予想天気図（FSAS）の名称及び略称を海上悪天24時間予想図（FSAS24）に変更します（ヘッダ、画種番号、配信時刻及び内容の変更はありません）。

なお、このFSAS48の発表は、警報事項を伝えるものではありません。これまでと同様に、警報の詳細な内容は全般海上警報や地方海上警報により、1日4回（海上台風警報・海上暴風警報が発表されているときは1日8回）発表していますので、これをご利用ください。

記

配信開始日時：平成13年3月21日00UTCを初期値とするものから
（平成13年3月21日16:50頃（JST）配信）

記載内容：（別紙を参照）

- （1）48時間先に予想される低気圧、高気圧の位置、等圧線、前線を表示します。
- （2）北緯0～60度、東経100～180度の海域を対象に、48時間後に強風（30kt以上）が予想される領域の風向風速を、矢羽根を使って表示します。FSAS48に表示される台風の中心位置は、FSAS24と同様に48時間先の予報円の中心位置です。
- （3）前述の海域を対象に、48時間先に予想される船体着氷域を斜線を使って表示します。
- （4）オホーツク海などで海氷が発生した場合、前述の海域を対象に、海氷域を表示します。海氷域の詳細については、全般海氷情報（STPN）などをご利用ください。

なお、FSAS24で行っている濃霧の発生領域の予想は、予報精度を考慮し、行いません。

ヘッダ、画種名、配信時刻：

画種名	ヘッダ	配信時刻
FSAS48-00	QACI98 RJTD YY0000	16:50頃 (JST)
FSAS48-12	QACI98 RJTD YY1200	05:50頃 (JST)

配信方法：

気象業務支援センターから、FAX図情報（アナログ、デジタル、新デジタル）
で配信

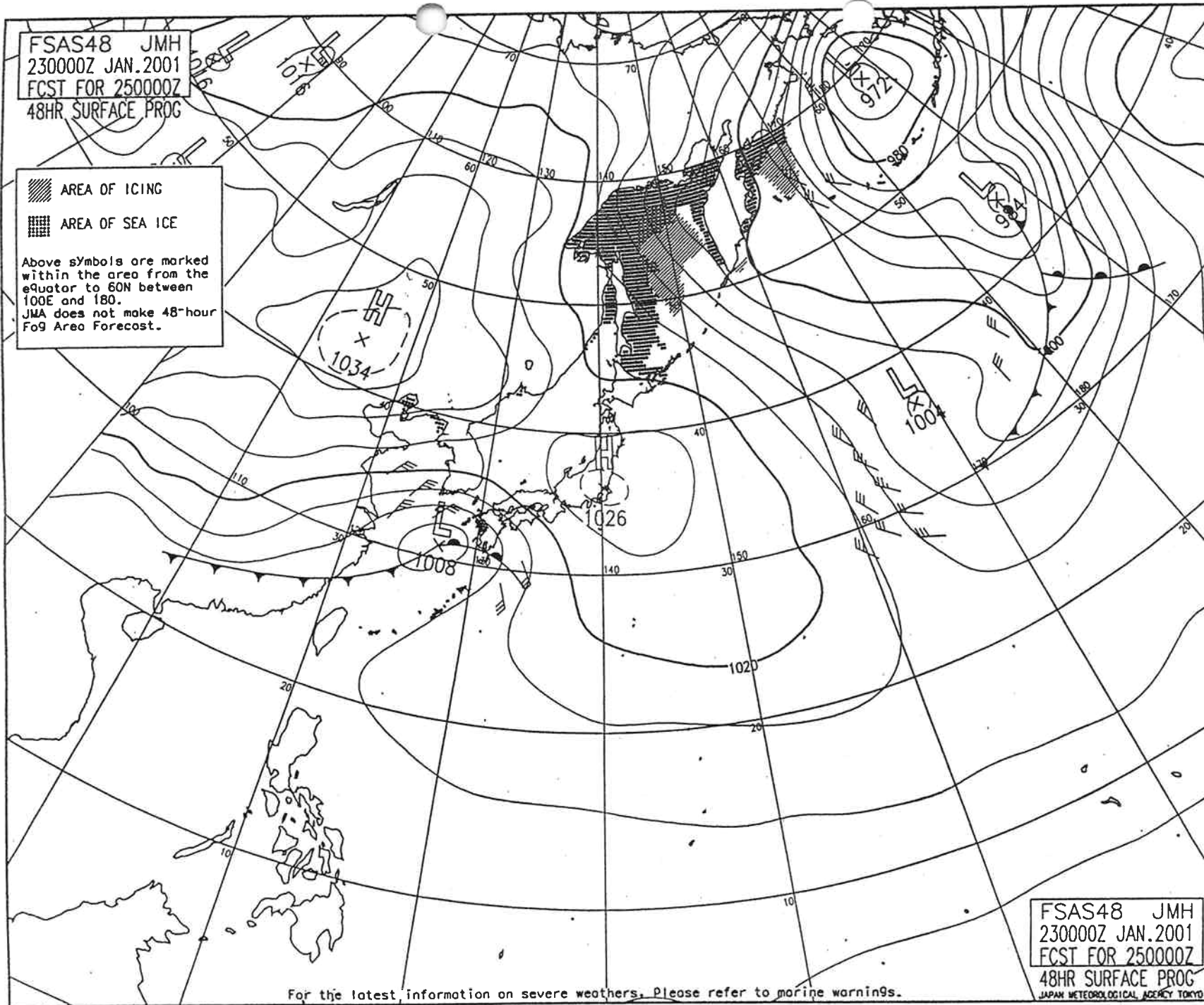
以上

FSAS48 JMH
230000Z JAN.2001
FCST FOR 250000Z
48HR SURFACE PROG

▨ AREA OF ICING

▣ AREA OF SEA ICE

Above symbols are marked
within the area from the
equator to 60N between
100E and 180.
JMA does not make 48-hour
Fo9 Area Forecast.



For the latest information on severe weathers, Please refer to marine warnings.

FSAS48 JMH
230000Z JAN.2001
FCST FOR 250000Z
48HR SURFACE PROG
JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY TOKYO